松ヶ崎マップ

伝統を未来へ

松ヶ崎へのアクセス

- 地下鉄烏丸線 松ヶ崎駅すぐ、国際会館駅より徒歩約 15 分
- 叡山電鉄 修学院駅より徒歩約 10 分
- 京阪電車 出町柳駅よりバス、または叡山電車に乗り換え

この度、地域各種団体長をはじめ地域住民、学校関係の方々、学生、児童の皆さんの協力により松ヶ崎地域新マップが完成しました。1 年を通じたワークショップと関連委員会での検討により生まれたマップテーマは、身近な自然哲学でもある「天地の五要素（五行）、木・火・土・金・水」で、当地の豊かな地域文化を体現するにふさわしいものと言えるでしょう。さあ、あなたも松ヶ崎の伝統と未来の新たな発見をご一緒しませんか？

左京松ヶ崎環境推進ネット

企　画　・　発　行：左京松ヶ崎環境推進ネット
・京都工芸繊維大学
・京都市立松ヶ崎小学校
・同学校運営協議会

コーディネート：京都工芸繊維大学佐々木康司ゼミ及びまちづくり研究会

編　集　協　力：（財）松ヶ崎立正会

問い合わせ先：京都工芸繊維大学まちづくり研究室（075-724-7646）

発　　行　　日：平成 24 年 3 月 31 日

（平成 23 年度左京区大学と地域の相互交流促進事業）

参考文献：「松ヶ崎」（松ヶ崎）、「松ヶ崎立正会　編・発行」
「子どものための松ヶ崎風土記」松ヶ崎小学校育友会　編・発行

松ヶ崎と水

松ヶ崎では古くから米づくりが盛んに行われてきたが、長い間干ばつによる水不足に悩んできた。宝ヶ池や水路によって水不足から解放されるまでには多くの苦労があった。

● 井出ヶ鼻井堰と水路

江戸初期に完成した井出ヶ鼻井堰。松ヶ崎を流れる水は全てこの井堰から引かれ、そこから大きく分けて 3 つのルートで東から西へと流れる。そしてそれぞれの川の水が最終的に泉川に集中するように、自然の傾斜を利用した緻密な計画が考えられたのだ。

宅地を抜けた泉川は吸い込まれるように下鴨神社へ流入していく。川はひとときは自然な姿を取り戻して糺の森を潤し、最後には鴨川に流れ出る。この水は灌漑用水だけではなく生活用水としても利用されてきた。

井出ヶ鼻井堰と水門

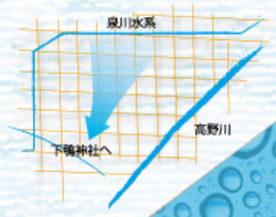
● 宝ヶ池

1763 年、役所に願い出てつくられたのが宝ヶ池である。虎の背山の北側にある深田を利用して灌漑用のため池とした。1855 年、池の修理と共に拡張工事を行って現在の大きさになった。名前の由来は諸説あるが、水不足に悩んできた村人にとって宝の池であったことは間違いない。

● 井戸

妙円寺の大黒天旧参道に古井戸があり、昔キツネがこの井戸にはまって死んだ。すると稲荷の親ギツネが現れ「今後一切井戸を掘ってはならぬ。掘ればその家に不幸が訪れる。その代わりどんな陽照りでも神通力で湧らさぬようにする」とのお告げがあった。以来水道が出来るまで東部 17 軒はこの井戸 1 つですごしてきたという。

古井戸跡



輝く未来へ

左京区総合庁舎の松ヶ崎への移転計画をきっかけに、2006 年松ヶ崎小学校と京都工芸繊維大学が連携する小大連携事業を開始。

● 伝統文化継承事業

立正会の方々のご指導のもと、地域古来の伝統芸能であるさし踊りの講習を行っている。さし踊りは小学校の夏まつりでも踊られ、人々に親しまれている。

伝統文化継承事業

● 区役所づくり WS

小学生と一緒に区役所について調べ、模型を作りながら理想の区役所づくりを話し合った。

ホタル探検ツアー

● ホタル探検ツアー

毎年 6 月小学生や地域の方々と共に地域の資源のひとつであるホタルを探しにいく活動である。

● 安心安全マップ

「たんけん・たいけん・まちはっけん！」事業。安心交流拠点のまちを目指し安心安全マップを作成した。

フラワーウォーク

● フラワーウォーク

地域のメインストリート北山通における「北山フラワーウォーク」は通りの清掃活動、花壇の植え替えを行っている。

文教と彩りのまち

松ヶ崎には文教施設、区総合庁舎をはじめ、多くの公共施設が集まっている。また、北山通界わいは地下鉄延伸以降、結婚式で賑わう教会のライトアップなども見られ、彩りが豊かになってきた。

松ヶ崎の農業

松ヶ崎では稲の取り入れをした後に畑菜の種をまき、種油をとる裏作を行っていた。4 月になると畑では見事な黄色いジューダンが見られる。

菜の花漬

松ヶ崎の花漬は、毎年春に菜の花を塩漬につけたもので、塩だけでなくぬか袋を入れてつける家もあり、それぞれの家の味がある。

● さまざまな逸話

江戸時代以前に始まったという説と、辻之町の甚兵衛のおばあさんが始めたという 2 つの説がある。

● 漬け方

①ひとつかみずつ束にして四斗(72ℓ)の樽に重ねておき、ひとつかみの塩を散らす。
②100束くらい入ったところで蓋をして上から石のおもしをする。
③1 日置くと少し減るのでまた刈ったものを重ね、べっこう色になるまで漬ける。
④約 3 カ月して漬かったら取り出し、茎のほうを手前に葉をたたみ完成。

農機具紹介

現在立正会館では、昔の農機具が保存されている。

● 足踏式回転脱穀機

足踏みを片足で上下に動かすとドラムに打った二つ折状の釘が回転しもみを落とす。

● 唐箕（とうみ）

ハンドルを回して風を起こし、わら屑やほこり等を飛ばし、良く実ったもみをとる。

松ヶ崎の山

山を背景として自然豊かな松ヶ崎。草木の変化とともに、たくさんの鳥や虫たちが四季の訪れをつげてくれる。これらを未来へと守っていくのは私たちの役割である。

● 松ヶ崎の山

松ヶ崎という地名は山の出崎にあり、松の樹がたくさん茂っていたことに由来する。西から西山、林山、東山、城山などが並んでいるが、これらを総称して虎の背山という。

また松ヶ崎は古くから和歌に歌われた名所で賀茂に続いた秀麗な名所として「源氏物語」などに登場する。

宝ヶ池から見た松ヶ崎の山々

● 山の歴史

・昔の松ヶ崎

赤松が多く生えており、マツタケもよくとれていた。赤松は薪や送り火「妙」、「法」の焚き木などに使われた。

昭和初期の松ヶ崎

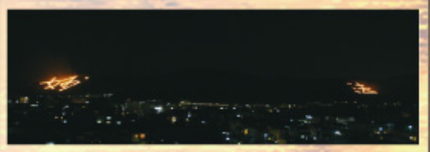
・現在の松ヶ崎

松ヶ崎の山は椎の木が増えているが、宝ヶ池からの眺望も素晴らしく、現在はトレッキングコースが整備され、山の尾根を歩く事ができる。

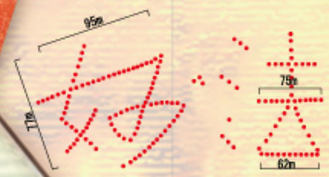
トレッキングコース

送り火

浄土からお迎えした先祖の精霊を再び浄土へお送りする宗教的な行事で、8 月 16 日の夜、西山に「妙」の字、東山に「法」の字が灯される。



●「妙」「法」の大きさ



妙法ともに鉄製受皿が斜面に埋め込まれている。薪は松を使用し井桁に重ねる。薪の数は 332 束、松葉は 170 束使用する。

左図に示した●は火床を表し、「妙」は 103 基「法」は 63 基で成り立っている。

日本最古の盆踊り

● 題目踊り

最古の盆踊りといわれている松ヶ崎の題目踊り。8 月 15 日 16 日の夜に涌泉寺の境内で「南無妙法蓮華経」のお題目に節をつけて題目音頭に合わせて踊る。

● さし踊り

さし踊りは題目踊りが終わると踊られる、松ヶ崎のもう 1 つの伝統的な盆踊りである。娯楽性が高く地域行事の度に踊られる。

盆踊りが踊られる涌泉寺

松ヶ崎の歴史

松ヶ崎という名前が現代に伝わるまでの１０００年余りの長い歴史をご紹介。

810年　「松ヶ崎」の名前が文献に初めて登場する

「日本後紀」嵯峨天皇が「松崎川」で禊をしたと記録されている。
また、平安時代には「松ヶ崎」を読み込んだ和歌が残っており、風光明媚な名勝だったとのことである。

992年　松崎寺（円明寺）が建立

（805年黄門侍郎諜利が建立の説もある）
比叡山三千坊のひとつで天台宗の寺。
中納言源保光が建立。後に「歓喜寺」と改称された。

1253年

鎌倉時代後期は世の中が混乱し、心のよりどころを宗教に求める時代であった。鎌倉時代の僧・日蓮は「南無妙法蓮華経」の題目を唱えて法華経の信仰を説いた。日蓮宗（法華宗）の始まりである。

1306年　松ヶ崎村の改宗

先述したようにもともとは延暦寺に属する天台宗のお寺であったが村人全員が日蓮宗に改宗し、歓喜寺は妙泉寺に改称する。

▌題目踊りが始まる
日蓮宗になったことを喜び踊り始めた事から始まった。

▌妙法のおこり
五山送り火の「妙」の字は妙泉寺縁起によると、一村改宗の時に始まった、と記載されている。
「法」の文字は江戸時代の初頃に書かれた。

1336年　室町時代が始まる

京都に幕府が置かれるとともに、応仁の乱等による戦乱で京都は荒廃。

1536年　天文法華の乱が起こる

日蓮宗を目の敵にする延暦寺が日蓮宗の寺社を攻める。
比叡山の麓に妙泉寺がある松ヶ崎は最初に攻撃を受け、焼き払われた。

1574年　本涌寺が建立される

日蓮宗の中でも最も優れた学僧と言われた「教蔵院日生」が学室としてつくる。生師廟は日生上人をお祀りしている。
その後、妙泉寺がこの場所に移り、涌泉寺が建立された。

1603年　江戸時代が始まる

▌「松ヶ崎村定法」
江戸時代に政治の仕組みとして定められた。明治になり廃止。
現在、送り火やその他の事業は「立正会」が引き継いでいる

▌井堰（いせき）が作られる
松ヶ崎の田畑へ十分な水を引くため、
井出ヶ鼻井堰を作るなど、水関連の整備が強化される。

1616年　松ヶ崎大黒天：妙円寺が建立される

本涌寺の能化（教授）であった日英が居住した所。
日英を慕う東松ヶ崎の村人が棟梁となり作られた。

1763年　宝ヶ池をつくる計画が浮上

この年ため池を作る嘆願書が出されたと古文書に記載。
「深田」をため池に改造して出来たのが宝ヶ池である。

1873年　松ヶ崎村に小学校が出来る

松ヶ崎堀町の妙泉寺の一坊を教室として小学校が開設された。

1927年　松ヶ崎浄水場が竣工

年ごとに水の使用量は増えたため、1969年から拡張工事が行われた。

1947年　「京都市立松ヶ崎小学校」新設

第二次世界大戦の終焉とともに、新しい学区制のもと 4 月に開校した。

1949年　京都工芸繊維大学　誕生

1930年、京都工芸繊維大学の前身である高等工芸学校が松ヶ崎に移転。
高等工芸学校と高等蚕糸学校が合併し、京都工芸繊維大学が誕生した。

1985年　松ヶ崎周辺の北山通が開通

宝ヶ池通～松ヶ崎橋間が開通した。

1997年　地下鉄烏丸線が延長、松ヶ崎駅が出来る

北山～国際会館間が開通した。

2011年　左京区役所が松ヶ崎に移転

吉田にあった左京区役所が総合庁舎として松ヶ崎に移転した。

水　木　火　土　金